

| 科目名 | サブタイトル | 担当教員 | 配置学年 |
|----------|--|--------------------------------------|-------|
| 交通経済学 | 経済学の視点から交通問題を考える | 栗田 善吉 | 2年次前期 |
| 講義の目的 | 人の移動や貨物の輸送といった交通は、私たちの生活に欠くことのできない活動です。しかしながら、道路や鉄道の混雑、過疎地の公共交通の衰退、環境問題等、交通には様々な問題がつきものです。なぜ交通には問題が生じるのか、本来はどうあるべきか、こうした疑問について、本講義では経済学の視点から考えていきます。 | | |
| 到達目標 | 経済学の視点から交通の問題を考えると、これが正解、という明確な考え方はありません。しかしながら、ある考え方（経済学の理論）に沿って交通問題を自ら考え、意見を述べられるようになることが、本講義の目的です。 | | |
| 講義内容 | 私達が日常行う消費活動や生産活動の多くには交通が関わります。言い換えれば、経済活動と交通は切っても切れない関係にあると言えます。本講義では、交通サービスの需要（移動）と交通サービスの供給（輸送）に焦点を当て、初歩的な経済学の考え方をを用いて、交通にまつわる様々な事象や問題を考えていきます。 | | |
| 講義スケジュール | 第1講 | 交通経済学ではどのようなことを学ぶのか、ガイダンスと講義の進め方について | |
| | 第2講 | やさしい経済学：①消費者行動の理論 | |
| | 第3講 | やさしい経済学：②企業行動の理論 | |
| | 第4講 | 交通サービスの特性と交通サービスの需要 | |
| | 第5講 | 交通事業者の費用特性と交通サービスの供給 | |
| | 第6講 | 運賃理論と運賃政策 | |
| | 第7講 | 市場の分類と交通市場の特性 | |
| | 第8講 | 交通と政府の関係（規制と規制緩和） | |
| | 第9講 | 規制緩和の理論的根拠 | |
| | 第10講 | 交通と環境規制 | |
| | 第11講 | 交通事業者への補助制度 | |
| | 第12講 | 内部補助と公平性の問題 | |
| | 第13講 | 交通ネットワークについて | |
| | 第14講 | さらに学習を深めるためのポイントについて | |
| | 第15講 | まとめと総復習 | |
| 方法指導 | プリントを配布すると共に、パワーポイントによるスライドを活用しながら講義を進めます。配布するプリントは不完全な内容であり、重要事項について講義を受けながら完全なノートを作成する形式とします。 | | |
| 授業外学習 | 交通経済学は、経済学の応用分野ですので、基本的な経済学の知識が必要です。初歩的な経済学のテキストを事前に目を通し、講義を受けて関連分野を復習するよう心掛けて下さい。 | | |
| 成績評価方法 | 評価の方法は、本試験（筆記試験）80%、平常点（レポート）20%の割合で評価します。 | | |
| ステキ | 毎回、プリントを配布しますので特に指定しません。 | | |
| 書籍参考 | 竹内健蔵著、『交通経済学入門』（新版）、有斐閣、2018 | | |
| 事項記 | 基本的な経済学の考え方については、極力、平易に説明しますが、上述の授業外学習をしっかりと行って下さい。 | | |